

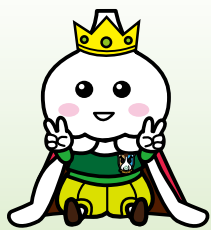


田子町

議会だより



新型コロナウイルスが流行している中
普段と変わらぬ力強い水の流れを見せている
自然の雄大さに改めて気づかされる



目次

- 1. 定例会／議案審議 …………… P2～3
- 2. 一般質問 …………… P4～10
- 3. 委員会報告 …………… P11
- 4. ピックアップインタビュー…………… P12

(地域おこし協力隊／五十嵐さん)

第104号

令和2年7月22日発行
青森県田子町議会

第2回定例会

定例会の あらまし

令和2年第2回定例会が6月5日（金）から6月10日（水）までの6日間の会期で開催されました。

6月5日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

6月9日の一般質問には4名、10日には2名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論が交わされました。

同日、陳情の付託、議案の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。また、追加議案の上程・説明がされ審議されました。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について（田子町町税条例等の一部改正）	原案承認 (賛7・否0)
報告第2号	専決処分した事件の承認について（田子町国民健康保険税条例の一部改正）	原案承認 (賛7・否0)
報告第3号	専決処分した事件の承認について（田子町固定資産評価審査委員会条例の一部改正）	原案承認 (賛7・否0)
報告第4号	専決処分した事件の承認について（令和2年度田子町一般会計補正予算（第1号）について）	原案承認 (賛7・否0)
報告第5号	専決処分した事件の承認について（田子町町税条例等の一部改正）	原案承認 (賛7・否0)
報告第6号	専決処分した事件の承認について（令和2年度田子町一般会計補正予算（第2号）について）	原案承認 (賛7・否0)
報告第7号	専決処分した事件の承認について（田子町奨学資金貸付条例の一部改正）	原案承認 (賛7・否0)
報告第8号	令和元年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第9号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会令和2年度事業計画並びに令和元年度事業報告及び決算について	報告のみ
報告第10号	公益財団法人にんにくネットワーク令和2年度事業計画並びに令和元年度事業報告及び決算について	報告のみ
議案第30号	田子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛7・否0)
議案第31号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決 (賛7・否0)
議案第32号	田子町消防委員会委員の承認について	原案承認 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">田子町消防委員に次の者を委嘱したいので、議会の承認を求めるもの。 平山 富男（行政区：矢田郎）</p>		
議案第33号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">田子町固定資産評価審査委員に次の者を選任したいので、議会に同意を求めるもの。 三田 喜美雄（行政区：飯豊）</p>		
議案第34号	田子町教育委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">田子町教育委員に次の者を選任したいので、議会に同意を求めるもの。 川上 洋行（行政区：七日市）</p>		
議案第35号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">田子町農業委員に次の者を任命したいので、議会に同意を求めるもの。 鳴滝 笑美子（行政区：南側）</p>		
議案第36号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">西野 榮一（行政区：種子）</p>		
議案第37号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">山市 礼子（行政区：千草場）</p>		
議案第38号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
<p style="text-align: center;">森崎 敏（行政区：千草場）</p>		

議案第39号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
細谷 一夫 (行政区:細野)		
議案第40号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
白板 文雄 (行政区:原)		
議案第41号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
大坊 和民 (行政区:道前)		
議案第42号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
上平 満広 (行政区:茂市)		
議案第43号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
木崎 正夫 (行政区:嘉沢)		
議案第44号	田子町農業委員会委員の任命について	原案同意 (賛7・否0)
畠山 嘉昭 (行政区:新田)		
議案第45号	令和2年度田子町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決 (賛7・否0)
議案第46号	令和2年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛7・否0)
議案第47号	令和2年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛7・否0)
議案第48号	令和2年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛7・否0)
議案第49号	令和2年度田子町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛7・否0)

議案番号	追加議案の件名と主な内容	議決結果
議案第50号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛7・否0)
議案第51号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決 (賛7・否0)
議案第52号	田子町特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛7・否0)
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、町民生活及び地元経済の深刻な状況を踏まえ、特例措置により減額し、町内の新型コロナウイルス感染症対策の更なる充実を図るために、関係条項を改正するものです。</p>		

議案番号	議員提案の件名と主な内容	議決結果
提案第1号	議会の議員の報酬の特例に関する条例の全部改正について	原案可決 (賛7・否0)
<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地元経済の深刻な状況を踏まえ、田子町民への新型コロナウイルス感染症対策支援のさらなる充実を図るため、特例的な議員報酬の削減を行うため提案するものです。</p>		

※議長は採決には加わりません。

議案審議時に1名欠席のため7名での審議となりました。

一般質問

6月定例会では6月9日、10日に一般質問が行われ、**6人の議員**が町政について質問をしました。
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P5

・新型コロナウイルス問題について

○宇藤議員・・・P6

・コロナ禍における町の支援策について

○北田議員・・・P7

・自治会・町内会活性化対策について
・防災対策について

○宮村議員・・・P8

・道の駅構想について
・サンモールスーパーの跡地利用について

○山崎議員・・・P9

・新型コロナウイルス感染症対策に関する支援策などについて
・道の駅事業について
・町職員の適正な職員数について
・産業振興における現状と今後の方針について
・町民の生活環境の現状について

○尾形議員・・・P10

・新型コロナウイルス感染症対策について

質 ……質問 **答** ……答弁 **要** ……要望

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

新型コロナウイルス 問題について

質 町の主な感染予防
対策考え方は

答 令和2年4月7日、
国では緊急事態宣
言を発令しました。こ
の宣言を受けて町は、
同日付けで田子町新型
コロナウイルス感染症
対策本部を設置し、感
染予防対策を決定しま
した。その内容は、「田
子町に持ち込まない、
持ち込ませない」「子
供と高齢者を守る」を基
本方針に掲げておりま
す。東京都を始めとす
る12都道府県を感染拡
大警戒地域と定め、こ
の地域からの往来者に
対して、町で用意した
住宅での行動制限と健
康観察をお願いするこ
ととしました。そして、
3密の回避、手洗い、
換気、消毒やマスクの

着用などについて、ケ
ーブルテレビやチャシ
など様々な媒体を使っ
て町民に啓発すると
もに、マスクの無料配
布を行い感染防止に努
めてきました。今後も、

「田子町に持ち込まな
い、持ち込ませない」
「子供と高齢者を守る」
を基本方針として感染
予防に努めて参ります。

質 落ち込んだ経済へ
の支援・立て直し
政策は

答 感染防止のため、
様々な活動が自粛
され、当町の経済活動に
も大きな影響を与えて
おります。現在、住民生
活の支援と需要喚起を
促すことによる地域経
済の活性化を目的とし
た地域応援商品券の配
布と売上げが減少した

事業者等に対する事業
継続のための支援金の
給付などを実施してお
ります。

質 医療や介護に使用
する物品の状況は

答 現在、町で運営し
ている診療所・老
健たっこ・訪問看護ス
テーションの全体的な
状況と致しましては、最
低限必要なマスクや消
毒液は、確保できており
ます。ただし、ガウンや
フェイスシールドなど
については、未だに購入
が困難な状況が続いて
おります。

質 非接触型の体温計・
サーモグラフィー等
の用意や、値段は

答 非接触型の体温計、
サーモグラフィー等
の用意は、値段は

あれば4〜5千円から
2万円台というふうな
ところで、地域包括支援
課のほうで5月の下旬
に2台ほど。教育課のほ
うでは6台ほど整備し
ております。

質 高機能マスクや、
フェイスシールド、
ガウンなどの値段は

答 マスク、フェイス
シールド、ガウン
等の値段となりますけ
れども、現在診療所で使
用しているサージカル
マスクで、1箱50枚入り
で当初は1800円の価
格でした。これが、今
50枚入り1箱1500
円から2千円程度、感染
防止のN95と、高機能の
マスクになりますと、1
箱20枚入り約370
0円。フェイスシールド
は、Lサイズで1セット
1500円。ガウンは、
かっぽう着的なやつに
なりますけれども、1箱
50枚入りが通常ですと
3500円でしたが、現
在の価格が約8千円と、

2倍程度高騰している。
購入はいまだに困難な
状況が続いております
が、業者に連絡をして、交
渉を続けてまいりたい。



→注目されている
マウスシールド

質 コロナウイルスを
ふまえた上で今後
の予算や行事に対する
進め方をどうするのか

答 現在町では、行事
やイベントなどの
開催につきまして、4月
から6月までの行事や
イベントは中止、7月か
ら9月につきましては、
是非について検討して
行くこととして、10月以
降につきましては、実施

内容や規模等を考慮し
つつ開催を前提に慎重
に進めていきたい。今後
の予算につきましては、
支援策を検討・実施す
ることで、地域経済の活
性化や、町民生活の維
持・回復に向けて取り
組んで行きたい。

質 様々な対策を実施
しているが、2波
3波、12月頃まで延び
ることになれば、どれ
ぐらいの予算出動を考
えているか

答 予算の決め方は、
第2波第3波を予
定して予算を組むこと
は、事実上できない状況
です。経済の活性化、町
民生活を元に戻すよう
な仕組みは、1回で終わ
ることを想定しつつや
っています。腹のくくり
方としてみれば、適切に
やりたいという思いを
持っておりますが、これ
はやはり議会と相談を
しながら、議会とともに
それを決定していく。



宇藤 大介 議員

コロナ禍においての町の支援策について

質 令和2年6月8日現在、我が国では新型コロナウイルスに関連した感染者1万7910例、死者数は932名と未曾有の惨禍の現状がある。国や県の支援策も目を重ねるごとに国民の痛みに寄り沿ったものになりつつあるなか、我が町の自営業・商工業・農林畜産業、また、医療・福祉・介護・教育の現場の窮状は詳らかとなくはない。ここで重要となるのが、我が町の各分野での現状の把握、情報の収集・提供、適時適切な支援・手当てであることは論を俟たない。現時点での我が町の各現場での課題の調査・洗い出しはどの程度行われているのか。その支援策、実施・周

知は十二分であるのか。また、今後の新たな支援対応策はどの様な検討がなされているのかをお示しいただきたい。

の落ち込みが顕著であること。飲食店においても同様で非常に苦慮しているとの報告を受けている。「医療・福祉・介護」については、感染防止のための資機材の購入が困難な状況あること。従事スタッフの罹患と利用者の感染防止に全力を傾注し、国・県医師会の動向を注視しながら、情報共有に努めて参りたい。「教育」の現場については、子ども達の学びを守ることに主眼を置いた対応に努めている。臨時休校による家庭における子ども達の生活状況の変化や学習の遅れを心配したが、休校期間中の教職員による課題テキストの作成配布や電話等での定期的な生活状況の確認、町ケー

ブルテレビを利用したデータ放送でのお知らせや学習番組放送などを実施し、生活や学習に対する意識付けを行った。今後においても、国のガイドラインや指示に基づき、学校再開後の授業時間の確保により学習の遅れを解消し、学校環境へ徹底した感染予防対策を継続して講じていく。「今後の新たな支援対応について」であるが、国・県の支援策や町独自の実施事業の状況を踏まえつつ、地域経済の活性化に向けた取り組みを進めていく。また、それに伴った住民への情報提供・周知については、ケーブルテレビや町のホームページ、緊急告知放送、行政連絡員を通じての資料配付などを活用し、今後

質 新型コロナウイルス対策商業、町地域応援商品券給付事業、家族のきずな便事業、町独自の三事業における町長の所感と総括は。

質 町の子どもたち、教育の現場についての町長の認識と、今後に向けた取り組みへの意欲は。

答 「農業関係」については、3～4月にかけて出荷等も少なく、新型コロナウイルスによる影響はさほど見受けられておらず、通常どおりの流通が維持されているとの認識である。しかしながら、畜産業において、牛の市場価格の低下により、繁殖・特に肥育農家の収入が大きく減少している状況にある。「商工業」については、製造業において、給食の停止や首都圏取引先の受注減により出荷量が減少していること、小売店においては、外出自粛などの影響で売上げ

も速く・わかりやすく、確かな情報を住民に伝え、支援対策が広く効果的に活用されるよう進めて参りたい。

質 感染拡大防止の主要役であった介護従事者への手当等の処遇改善への意欲は。

答 子ども達自らが自分の目標をいち早く見定め、そして、その目標を見定めた中で家族が、そして我々行政も応援していけるような仕組みを顕示してまいりたい。子ども達がどんなことを学び、何を学んだらいいのかということ、子ども達だけではなく、本来家族で話し合い、お互いにしっかりと覚悟を持って取り組んでいた

べきだ。私達はそれをしっかりと受け止めて、これを支援し守っていく。



北田 騰 議員

自治会・町内会 活性化対策について

質 自治会・町内会の組織力や活動等の現状をどのように認識しているのか伺う。自治会等の活動低下や地域を支える人材不足が深刻化している面もあり、住民自治や相互扶助、福祉、防災などの機能の低下が懸念される。人材育成、組織力の向上等の支援策を講ずる考えがあるか伺う。

答 田子町自治会連合会から提出された前年度事業報告によると、春のクリーンアップ作戦および地域内の清掃活動・環境美化活動への取り組みは全48団体が実施している。地域づくり助成事業では、住民同士の親睦を深めるために行われている世代間交流事業お

よび夏祭り行事などに、8つの団体が取り組み、地域の活性化に一役買っていたらいい。しかしながら、自治会や地域の活動の中で抱えている共通の課題は、地域でリーダーとなる人材の育成と、地域に住む若い力の取り込みである。多くの自治会においては、高齢化により生活道路の刈り払い作業や共同墓地の管理などが難しくなっており、地域活動の存続が困難な状況となってきたという声を伺っている。自治会等の活動低下や地域を支える人材不足に対する問題を解消できなければ、安心安全な町づくりは困難であると考えている。町としては、地域リーダーの育成と地域での結束力・組織力を高め

ることを目標に据えながら、自主防災組織の結成や高齢者世帯への除雪支援のほか、地域見守りネットワークや見守りマップの作成、サロンリーダーの育成など、ここ数年間取り組んできた。今後、それぞれの自治会・町内会をはじめ、自治会連合会や各種団体の活動を支援し、人材育成や組織力向上を図っていききたいと考えている。

防災対策について

質 災害等の対策である「事前準備」（緊急用の備蓄、各種マニュアルの作成、「減災」（最小限に食い止めるための方策）、「応答性」（初動体制も含めた事後

の対応）について、どのように、どこまで講じているのか伺う。

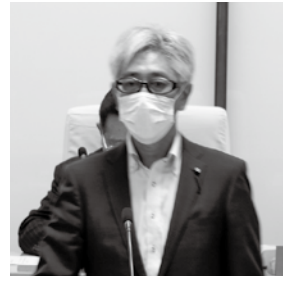
答 事前準備ですが、地域防災計画には緊急用の備蓄についての具体的な数値は明記していないが、県から示されている災害備蓄

の資料に基づき、避難所運営に必要な資機材として、発電機や毛布、間仕切りや畳マットの他、アルファームなどの食料や飲料水を備蓄している。また、危険箇所などにつきまして、急傾斜地崩壊危険箇所・落石等危険箇所などとして地域防災計画の資料編に記載し、防災に係る工事を行う際には交付税算入される有利な起債を活用できるように整理しながら、県との協議により順次整備を進めております。減災に対しては、被害をいかに最小限にとどめることができるかが重要であることから、役

また、町民には、いかに自分が安全に避難できるかが大事であることから、日頃から避難経路の確認や家具などの転倒防止を行うなど、有事に備えて頂く様、自治会総会や対話集会などで伝えている。応答性ですが、災害等が発生した後の対応となるが、夜間や休日等に災害が発生した場合の職員対応としては、風水害や地震災害など、それぞれの災害について職員参集基準を定め、関係課において住民への対応や現場確認等に当たるとしており、災害の規模等によつては、災害対策本部を設置し全庁体制で対応することとしております。

訓練については、大規模な災害が発生した

という想定で、それぞれの部署の対応や消防や警察との連携、県や自衛隊などへの応援要請を確認するなど本部機能についての図上訓練を実施し、有事の際への対応を確認している。町民には、総合防災訓練への参加や各地域での防災マップの作成により、危険箇所や避難経路及び要支援者の確認などをしてもらい、それぞれの地域で防災に対する意識を高めて頂いている。避難所の開設・運営等については、地域防災計画に基づき避難所の開設手順や職員の任務、運営管理等を基本としこれまで避難所の運営を行っているが、今後より詳細な運営マニュアル等を整備し、きめ細かな対応をしていきたいと考えている。



宮村 尚哉 議員

道の駅構想について

質 新聞報道で田子町「道の駅構想凍結」と出ていたが、発表までの経緯とこれからの計画、町長の考え方を伺う。

答 道の駅構想については現在、田子町農産物直売所（タッコ・ファーマーズ・マーケット）を拠点に、生産・加工・流通・販売までの仕組みづくりに取り組んでいる。しかし昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の不安解消を最優先に、全庁的な支援策が必要とされている状況、及びその支援期間が短期間で終わらない恐れがある事、多大な財政出動が予測される事から、道の駅に関する

る建設事業については、用地取得を含め、凍結とした。今後の計画については、今年度新たに採択となった総務省のモデル事業である「関係人口創出・拡大事業」を活用し、我が田子町に魅力あるしごとを創出していきたい。

質 ファーマーズマーケットは一部、町の補助金も入っているが令和元年度の売り上げ目標をクリアしている。様々な団体が今まで個別でやってきたことを、一本化し売上目標を達成した。友の会さんの会員に、凍結についての事前の協議はありましたか。

答 事前の協議はしていない、十分な説明は担当課を通じては伝わっているのではないかと考えている。道の駅建設は物産販売所の建設とイコールではなく、ファーマーズで頑張ってる方々の思いはしっかりと受け止めて、これを形にしていきたいと思います。

質 1年間やってみて、どれぐらいやれたのか。

答 ここにあるものは、どれも信頼が置けるおいしさのもの、そんな仕組みがほしい。今はお試しのところが強いが東京のレストランや量販店にイベントを打つなど、動く量が必要になり、連携が必要になる。そこはちようど芽が始め、葉が茂り始めている頃と表現できると思います。専門的にやらなければ仕事として成り立たないのではなく、入り口はちよつとしたとこで

あったけども次のステップへと意欲的なものが今見え始めている。これがファーマーズマーケットの役割として大きな割合で成功例だと考えてる。自分たちの稼いだお金で回せるようになる、ある程度の人数と売り上げが必要だということになる。今年はそのことにチャレンジする年だと考えている。

以上シャッターが降りている状態が続いている。スーパーの跡地利用について現在の状況と、これから町としてどのような関わりが出来るのか伺います。

答 裁判所から破産手続を開始する旨の通知があり、破産管財人である弁護士と協議をし、次の内容について確認している。一つ目は、破産手続はいつ終るかは不明であり、今後も引き続き建物内の整理を継続していく。二つ目は、土地、建物の処分方法について、土地は、金融機関の担保が設定されているため、金融機関の意向に左右される。三つ目は、共有財産の処分方法について新たな所有者が決まった時点で対応を協議したほうが良いと指導を受けている。

プラザさんの持ち物で、競売をしても買い手がつかなければ、そのまま土地と建物シャッターを下ろしたままで存続する。その場合、町としては何か考えがあるのでしょうか。

答 閉まつてる期間が長いと傷んでしま、改修費用の全部を町でやった場合、道の駅を建設するよりも高くなる。これは、議会の皆さんとともに相当の決意をして取り組みなくてはいけない。町が何かするのではなく、商店街の方々のお話を聞きつつ、どんな支援ができるのが基本で、町が全て主導権を持つてやるのは、必ずしもいいことではなく議員の皆さんからも言われているとおりで、思っている。弁護士さんからも情報を聞きながら、商店街の皆さんとも共有しつつ、協議をしていきたい。

サンモールスーパーの跡地利用について

→町内外から田子町の「おいしい」を求めて賑わっている。



質 ファミリープラザさんの経営破綻により閉店となり、半年

質 サンモールスーパー自体は町の持ち物でなくてファミリー



山崎 美代志 議員

新型コロナウイルス感染症対策に関する支援策などについて

町独自の支援策として町長の認識を伺いたい。

町民に対して5千円分の地域応援商品券配布事業も全世帯へのマスク20枚の配布と同時に5月下旬から開始している。町内の商工業者への支援として商工業者等支援事業や家族のきずな便など創設し町民生活の維持・回復に努めている。

申請の手続きに來れない一人暮らしとか高齢者や病気がちの方が給付を受けられ

るような配慮をお願いしたい。肥育農家だけでなく繁殖農家にも支援することで検討して欲しい。

道の駅事業について

道の駅事業の実施に向けての現段階での進捗状況について伺いたい。また、「たつこ産直友の会」の運営する直売所の直近3ヶ月間の収支状況について伺いたい。

道の駅に関する建設事業は、用地取得を含め凍結することとした。その理由は、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を最優先に事業支援が必要とされていることから決定したものである。たつこ産直友の会の運営する直売所の直近3ヶ月間の収支状況は、販売収入で約650万円、営

業費用は、約620万円となっている。

用地を取得してまでも多額の予算を投じてやるのではなく、小さい町ならではのやり方、創意工夫、今ある公共施設を使用することを大前提に考えて欲しい。

町職員の適正な職員数について

町の人口は、現在5338人である

が町の人口に見合った町職員の適正な職員数と人件費について町長はどう考えているのか、また、本来であれば人件費の抑制・削減を第一に考えて行政運営に当たるべきものと思うが町長の認識を伺いたい。

高度化している様々な行政課題等へもしつかりと対応するためにはそれぞれの自治体によって職員の数やそれに伴う人件費が必要であると考えている。

町全体の人件費が歳出に占める割合や財政の削減といったことをもって考えて行政運営に当たって欲しい。

産業振興における現状と今後の方針について

農業現場における農家の後継者問題や商工業者の売り上げ減少などといった現状について町長はどのように把握しているのか、また、サンモールたつこ商店街の元スーパーの事業停止後の状況はどのようになっているのか伺いたい。

農業現場における農家の後継者問題や商工業者の売り上げ減少などといった現状について町長はどのように把握しているのか、また、サンモールたつこ商店街の元スーパーの事業停止後の状況はどのようになっているのか伺いたい。

り、決定的な解決方法は見出していない。産業としての農業基盤を強化し次の世代にも産地として引き継がれていくような様々な補助事業等による支援を実施して参りたい。サンモールたつこ商店街の元スーパーの事業停止後の状況は、破産管財人である弁護士と協議し、今後のスケジュールなどについて確認したが、かなりの期間を要するとのことであり現在は状況を静観している。

他町村からも若い農業後継者を募ったりまた、町の元気なシルバー人材を生かした取り組みなどを実施したり、小さな町ならではの徹底した「地元で買い物をする。」そんな仕組み作りをして欲しい。

町民の生活環境の現状について

「町民の生活・暮らしが何より第一」と言われる中で一部の集落においては、未だに狭い生活道路の拡張を望む声などまだまだ不十分な箇所が多いと思うが町民の要望にもっと積極的に応じて欲しいが町長の認識を伺いたい。

生活道路の拡張や消火栓の整備など、基本的なルールとして各自治会などから要望を受け町と共に協議検討するなど地域との合意形成を図りながら実施することとしている。

各自自治会からの要望以外であっても町民個々が要望する施設整備に対応できる仕組みにして欲しい。

農業後継者の確保は長年の課題である

各自自治会からの要望以外であっても町民個々が要望する施設整備に対応できる仕組みにして欲しい。



尾形 憲男 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

質 中国武漢より発生した新型コロナウイルスの世界的蔓延によって深刻な状況になってい

る。感染によって身体的要因（病気）による生命の危機に直面している。対策として3密を避けること、また移動制限等（自粛）により拡散防止に一定の効果を上げている。しかしながらそのことにより経済活動の萎縮が始まり景気悪化が予測される。県内・町内にも限定的ではあるが影響が現れている。特に飲食関連は危機的状況だ。この対応として国は、事業主に持続化給付金等、個人世帯には、特別定額給付金・高等教育就学支援制度等を講じている。いずれも支

給までには時間を必要とするものと思われる。よっての経済対策のつなぎ資金的な対応策としての、町単独コロナ対策について質問する。

① 商工業者等支援金を実施している。対象者絞り込みの中で、商工業者以外では、農業法人等は対象にしているが農業者個人は含まれていない。ただし肥育農家は対象扱いとした。一律1事業者当り10万円を支給することとなっているが、金額と一律にした根拠、農業法人の数、農業者の数等、個人を除いた理由。今後の対策、方針を示してください。

答 支援金の支給額について一律1事業者10万円とした根拠は、

今回4月若しくは5月の売上額減少を基準とし1ヶ月当り5万円の2ヶ月分として算定した。支援事業の目的は、行動制限により減収となった事業者への支援取戻後の事業継続の支援のため。所得補償をするものではない。農業法人は2法人、農業者は1054人、農業者個人を除いた理由は、3月から4月に農産物の出荷がなく今シーズンの使う資材に影響がないため除外した。現在の支援事業の検証を実施し、対象者などの再検討をした上で国及び県が実施する支援策と合わせて、その補完的な支援策を町が実施する。

質 町奨学資金貸付による、大学生等への支援について、現行制度の奨学資金を利用している者も含む、とあるが利用状況（人数・金額・大学種別等）基礎的な数値、改定での効果、狙い、今後の対応を伺います。私見として、奨学資金貸付は、実質個人の借金であり支援とは言い難いものです。制度の改定だけでは、救済措置とはなり得ない。支援給付等適切な対策を望むものです。町としての見解を示してください。

況の悪化が予測され景気の動向と共に注意深く見守りたい。この条例改正は、年度途中での貸付を可能にし、奨学資金を緊急に貸付するための所要の整備を専決処分に対応したもの。今後の対応は、広く町民に周知し、実状に寄り添い、国や県、各大学等の支援制度を紹介しながら、より良い支援方法を探りたい。今後も聞き取り調査を重ね、どのような形の支援がふさわしいのか、議会と相談し、検討したい。

答 奨学資金を借りている生徒・学生の人数は、四年制大学22名、二年制専門学校4名、三年制専門学校3名、高等学校4名合計33名。貸付金額は大学及び専門学校、月額5万円、高等学校、月額2万円。新型コロナウイルス感染症の流行が長期化すれば家庭やアルバイトでの経済的状

況の悪化が予測され景気の動向と共に注意深く見守りたい。この条例改正は、年度途中での貸付を可能にし、奨学資金を緊急に貸付するための所要の整備を専決処分に対応したもの。今後の対応は、広く町民に周知し、実状に寄り添い、国や県、各大学等の支援制度を紹介しながら、より良い支援方法を探りたい。今後も聞き取り調査を重ね、どのような形の支援がふさわしいのか、議会と相談し、検討したい。

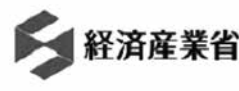
※下段では給付金のひとつの“持続化給付金”について情報を掲載しています。

持続化給付金についての問い合わせは、専用窓口があります。



持続化給付金とは？

感染症拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支援し、再起の糧としていただくため、**事業全般に広く使える給付金**を支給します。



相談ダイヤル

※申請支援窓口の設置場所等については、詳細が決まり次第公表します。

持続化給付金事業 コールセンター 0120-115-570
[IP電話専用回線] 03-6831-0613
受付時間 8:30～19:00 5月・6月（毎日）7月から12月（土曜日を除く日から金曜日）

注：経済産業省の専用ページから引用しています。

委員会活動報告（新型コロナウイルス感染症について）

議会運営委員会 （議会広報編集委員会）

新型コロナウイルス問題について

新型コロナウイルスが猛威を振るっておりませんが、幸い田子町では発症の報告はありません。しかしながら、イベントの中止や延期など少なからず関わる方々に影響が出ていることは確かです。飲食関係では自粛により様々な催しが見送られ、町の賑わいも今は陰を潜めている状況です。いつ終息するか、第2波はあるのかなど不安な状況が続いております。我々も町民の皆様の声に耳を傾け、少しでも不安を取り除けるよう、町と共に対策を講じて参りたいと思います。小さな事でも、一人一人ができることを行っていく行動が、大切な人を守ることに繋がります。そして、これからは感染対策と経済の再生、両方の強化を進めていかななくてはなりません。この困難を一致団結して乗り越えていきたいと思います。



宮村 尚哉 委員長

総務・文教常任委員会

対策支援の現状とこれからの取り組み

当委員会ではコロナ禍における短大・四大・専門学校生への支援の拡充について、議論を加速化させてまいりました。町で定めた町奨学金運用の改定において、年度途中からの資金の貸付、追加の60万前倒しでの貸付も結局、学生・保護者の負担増の一員となるだけであり、今を窮する手当としては不十分として、町内に住所を有する保護者を対象に一律10万円の緊急給付案を議会全員協議会へ答申いたしました。保護者の収入が減少し、学生のアルバイトの解雇等が進むことにより、学校卒業の夢が絶たれることは絶対にあってはならないとの思いを委員一同、認識を一つにし、我が町の子どもたちへの支援の強化に日々、協議を重ねております。教育とは投資であります。町の大切な予算を有効に活用するため、我々委員一同、全力を挙げて子どもたちの育成・支援に取り組んでまいります。



宇藤 大介 委員長

産業・民生常任委員会

所管の状況とこれから

新型コロナウイルスが流行しは発生していません。しかし産業や生活すべてに多大な影響があり、特に飲食や宿泊は大変な状況だと聞いております。さらにマスクや消毒剤等が手に入りづらいなどの問題もありましたが、マスクは町の方で少しではありましたが、タイミングよく入手し町民の皆様へ届けられました。そんな中で頑張っておられる医療、介護関係者や子どもをあげる方々に対して厚くお礼申し上げます。皆様や町民の方々が少しでも早く通常の生活へ戻れますよう私たちも考えを町へ伝え、共に協力して方策を作り実施していきたいと思っております。私たち産業・民生常任委員会といたしましても、この問題の多くを預かる立場として、早く、役に立つ対策を町当局と進めてまいりたいと思っております。



欠端 則夫 委員長

高品質のニンニクを栽培し、ニンニクを中心に町を盛り上げていくユニークな町だなど思っていました。田子町に移住を決断した際にまわりからは、良い町を見つけたねと驚きながらも羨ましがられました。



○自己紹介と一言

2019年5月に東京から移住してきました五十嵐孝直です。現在、地域おこし協力隊として活動しており、ニンニクの振興をメインのミッションに田子町産品の拡販、町の情報発信、空き店舗の活用や耕作地を借りて作物を栽培したりと多岐にわたり活動させていただいています。

○田子町へ赴任してみて、第一印象は

広大な土地と雄大な自然があると聞いていましたが、町の中心に行政、商業、医療施設が集中しており、コンパクトな町だという印象を受けました。また中心地から外れていくとのどかな田園風景や高原エリア、ロッジカウベル、タップコブ創遊村、みろくの滝などの自然豊かな名所があり、住みやすさと観光地がほどよい距離感の中で調和している印象を受けました。

○活動してみて田子町の印象は

どこの地方もそうかもしれませんが、少子高齢化や子供達が進学を機にほかの町へ行ってしまふことで、若い人の目線が町から抜け始めているような気がしています。私自身35歳でもう若くはない世代になってきましたが、ニンニクという強烈な産業を持っている田子町に若い目線が加わり始めればまたさらに世界中から注目される町になっていけると思っています。

○PRしたいこと

現在田子役場産業振興課にて勤務しておりますが、7月頃より町内空き店舗にて活動していると思います。詳しい場所は準備でき次第広報たこのコラムや地域おこし協力隊のSNSに記載しますので、ぜひ皆様遊びに来てください。



今回の議会だよりには、各所に新型コロナウイルス関連の質問などが見られた。それだけ我が町に重大な影響を与えているのだと改めて思った。ワクチン等が開発されるまで、生活や活動は十分注意をしなければと、気持ちを新たにしたい。今、議会は質問者も多く、町に活発な考えを提言できている。
(欠端 則夫)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(104号)

委員長

副委員長

委員

執筆協力

北田 騰
五十嵐孝直

山崎美代志
欠端 則夫

尾形 憲男
宇藤 大介

宮村 尚哉
宮村 尚哉